令和３年（2021 年）の羅臼岳の火山活動

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2021年の発表履歴

2021 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）

○2021年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１～３）

７月 19 日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。これまでの観測と同様に噴気や地熱域は認められず、地形や植生なども前回の観測（2019 年７月）と比べて特段の変化はありませんでした。

図１　羅臼岳　周辺図と赤外熱映像写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

図２　羅臼岳　西側からみた羅臼岳の状況　西側上空（図１の①）から撮影

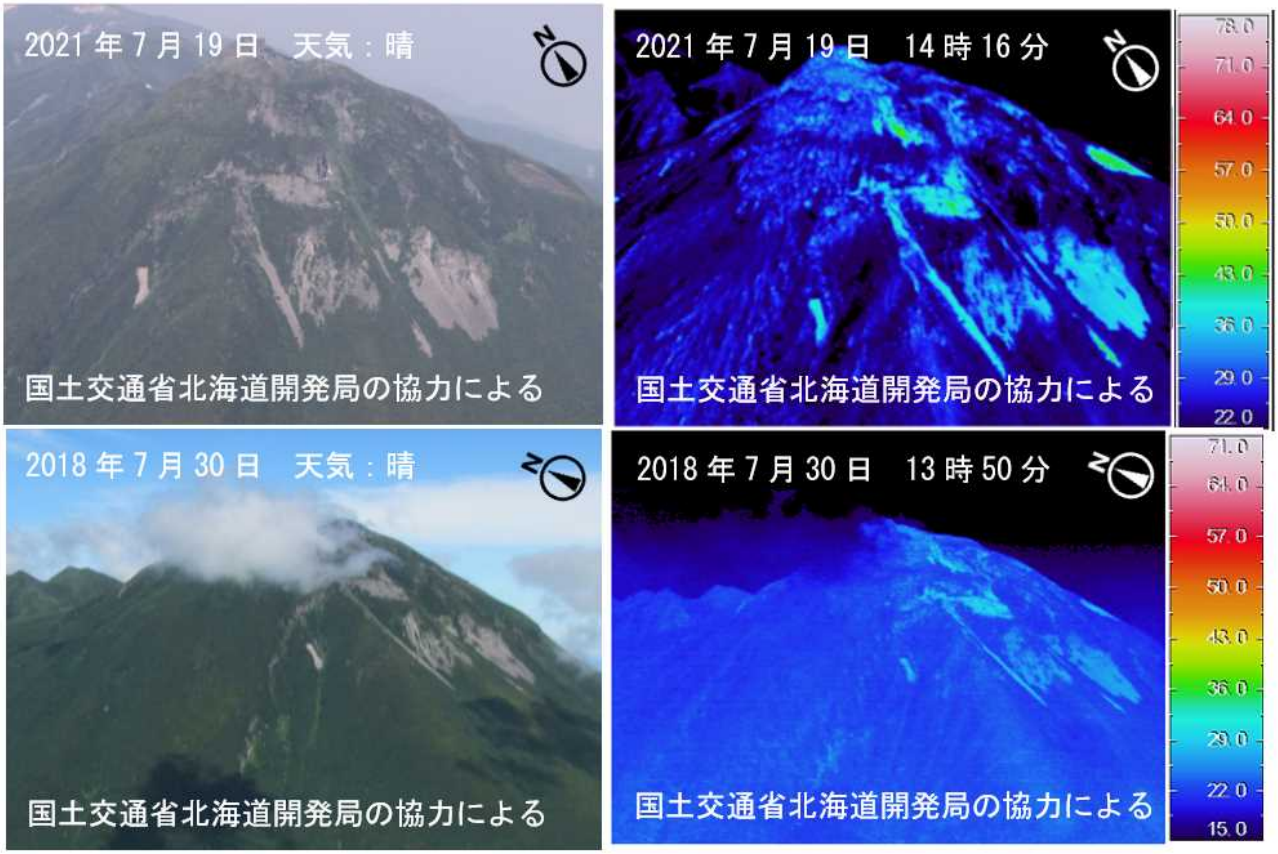

図３　羅臼岳　赤外熱映像装置による羅臼岳南西斜面の地表面温度分布　南西側上空（図１の②）から撮影
・前回の観測（2018 年７月）と比べて特段の変化は認められませんでした（一部領域で周囲に比べて温度が高く見えるのは日射による影響と考えられます）。